

平成 29 年度 「医療的ケア」委員会 活動報告

(抜粋)

5 次年度の課題と方針

(1) 個別ケースの課題の検討について

個別ケースにおいて、相談支援専門員や関わる関係者以外の多職種が検討することで、新たな視点やアイデアが出ることを期待し、平成 30 年度についても、相談支援専門員と本委員会、基幹相談支援センターとの連携を強化し、個別ケースの課題解決に向けた検討を継続していきます。

また、個別課題を整理する中で、政策提言等が必要な地域課題が出てきた際には、適宜、本委員会にて具体的な検討を行います。

(2) 医療的ケアが必要な人の短期入所について

平成 29 年度は、医療的ケアが必要な人が地域で暮らすための社会資源について情報収集を行い、乙訓圏域での実施について検討しました。その中で、重症心身障がい児者を短期入所で受入れる病院を増やすための補助制度が京都府全域で始まりました。病院での短期入所を乙訓圏域で実施するためにはどのような要件を整えていくべきかを整理し、再度、乙訓圏域で短期入所を必要とされている方達の割合や実態を探っていく必要性や利用する上で浮かび上がってくる問題点などの検討が必要と考えられます。

また、福祉型短期入所施設での受け入れ可能性についても模索し、安心して地域で生活できる支援体制の構築や資源の確保について検討していきます。

なお、乙訓圏域には重症心身障がい者に対応するグループホームや医療型短期入所を実施している病院がないため、具体的なイメージを委員で共有し検討を進めるために、近隣の既存のグループホーム・病院の見学を実施したいと考えています。これらのことを踏まえ、平成 30 年度は医療型短期入所施設の病院での実施を初めとした乙訓圏域でできる支援を検討し、具体的に提言していくための協議を進めていきます。

(3) 人材育成について

医療的ケアを行うことができる人材確保のために、平成 30 年度についても喀痰吸引等研修プロジェクトと連携・協力し、研修の実施に向け取り組んでいきます。